

学校教育目標		未来を拓く、知・徳・体の調和のとれた心豊かでかしこく たくましい子どもの育成		重点目標	基礎的・基本的内容を確実に身につけた児童の育成 健康的な心と体を身につけた児童の育成			
重点目標	目標達成のための具体的な方策	評価指導 (成果指標または取組指標)	評価	自己評価		学校関係者評価		改善計画
				結果(成果と課題)	評価	コメント		
重点目標に 関する 評価	基礎・基本の徹底	基礎的基本的な学力を高める	国語科で80点以上の目標を通過した児童の割合 算数科で80点以上の目標を通過した児童の割合	3 3	市販テストにおいては、ほぼ7～8割の80点以上が見られた。児童生徒支援加配を中心に個に応じた授業を計画的に実施できた。読書の推進は、読み聞かせボランティア「よむよむ」の方たちの協力もあり、本に親しむ児童が増えてきた。学校全体としてねらいを持った言語環境計画を行っていく必要がある。	4	重点目標を具体的な形で取り組み、実践されたことを高く評価する。学習についての取り組みがよくわかった。TT授業、よむよむなどの取り組みはよいと思う。言語環境については、家庭やマスメディアの影響も大きいと思うが、学校での取り組みに期待したい。自己評価欄は教育現場を適切に評価されている。上学年の学力低下が見受けられるので、更なる改善を望む。全項目において自己評価の数値が上がっている。先生方の努力の跡が見られる。	基礎的基本的な学力では市販テスト等での結果に学年各差があり、全体的な取り組みを再確認し、徹底していく。研究内容と日常授業の関連を充実させ、継続実践していく。学校全体としての少人数やTT授業等を計画的に行い、個人差への対応を充実させていく。読書意欲を高める読み聞かせや読書推進計画を充実させる。学習意欲や登校意欲を高める生活環境や学習環境の整備を見直し充実を図る。
		指導体制の工夫	少人数授業・TT授業など個に応じた授業の実施	4				
		学年・学級経営の充実	学年・学級経営案、週案に基づく経営の充実	3				
		教育環境の整備充実	学習環境・生活環境・言語環境の整備の充実	3				
		読書活動の推進	読書タイム・読書月間などの実践による読書推進	4				
重点目標に 関する 評価	健康的な心と体の育成	人間関係づくりを重視した特別活動の推進	一人一人を大切にした学級活動の推進 人間関係づくりを図る縦割りグループ活動の実施	3 4	縦割りグループでの登校や遊びが実施において、学年を超えた友だち関係をつくっていた。いじめの早期発見のためのチェックリスト等において気になる子への面談を行い、いじめ予防に努めた。外遊びを呼びかけ体を動かすことで全国平均に少しずつ近づけるように努めた。体力テストの結果を基に遊びや運動の紹介を行うことが全学年までは浸透しなかった。	4	縦割りグループ遊びは多くの人との関わる機会をつくる良い取り組みだと思う。外遊びは体力づくりの基本であると同時に人間関係づくり自然に対する好奇心を促すことにもなるので継続してほしい。いじめの早期発見のためのチェックリストのポイントの多さに驚いた。教師自身は、心身の余裕が図られているだろうか案じている。全人教育を目標に指導されていると思う。学期初めと三学期の差が気になる。基礎体力向上への一層の努力をお願いしたい。不登校問題や仲間づくりなど小中連携を深め取り組んでいく必要があると思う。	縦割りグループによる活動や遊びのねらいを明確にして推進していく。心に響き、心を整えていく道徳教育を「心のノート」「かがやき」「あおぞら」の適切な活用を通して推進していく。いじめの早期発見のための取り組みの継続といじめを許さない学級経営の工夫をしていく。生活規律の徹底を図るために生徒指導委員会を中心に「三つの宝」「なかよし」の取り組みを充実させる。体力を全国平均に近づけるため、全学年において体力テストを実施し、結果を外遊びや運動に生かす取り組みを継続して行っていく。
		心に響く道徳教育の推進	道徳内容の重点化と教育活動の関連化 「心のノート」「かがやき」の適切な活用	3 3				
		児童理解を生かした生徒指導の充実	いじめの早期発見のためのチェックリストや学校生活アンケートの活用 「川尻三つの宝」「なかよし」による生活規律の徹底	3 3				
		体力づくりの推進	外遊びの呼びかけ	4				
			体力テストの実施と結果の活用	3				

自己評価 4：目標達成（90%以上） 3：ほぼ達成（70%～90%） 2：もう少し（60%～70%） 1：できていない（60%未満）
 学校関係者評価 4：自己評価は適切である 3：自己評価はほぼ適切である 2：自己評価はあまり適切でない 1：自己評価は不適切である

総合的な評価	評価計画		自己評価		学校関係者評価		改善計画	
	重点目標	目標達成のための具体的な方策	評価指導 (成果指標または取組指標)	評価	結果(成果と課題)	評価		コメント
総合的な評価	教育課程・学習指導	年間指導計画・週学習指導計画の作成と実施 効果的な指導方法の工夫 量的管理と質的管理	実施状況の把握と改善	3	週案の点検、コメントにより指導時数確保、質的管理はできているが週案提出が完全でない。計画的な指導方法の工夫ができた。	4	週案提出で計画的な学習指導がなされている。児童と関わる時間も大切にしたい。	教育課程の評価と改善のための週案の定期的な点検と指導・助言、及び週案のより機能的な活用を図る。
			交換授業、少人数指導、個別指導の効果的な実施	4				
			週案による時数管理と教室訪問や日常の教室巡りによる質的管理	3				
	生徒指導	いじめ・不登校の組織的な対応 問題行動への対応	不登校児童に対する対応の状況把握、	4	児童への調査、出席状況、職員の児童観察等から問題行動等を把握し、状況に応じ組織的に柔軟な対応を行った。	4	組織的な細やかな対応やスクールカウンセラーの活用、小中連携が図られている。重点目標達成に向けた具体的な方策が成果に表れている。保護者の認識と協力が必要であると感ずる。	不登校・いじめ等の未然防止に向けた児童の実態把握と個に応じた具体的な対応策のさらなる検討、関係機関・保護者等との連携強化を図る。
			学校生活アンケートの実施	4				
			出席・遅刻状況の把握と分析 早期発見と迅速な対応	4				
	保健管理	保健管理体制 学校給食の管理	教室の換気、採光、トイレ、飲料水等の環境衛生。健康診断、救急措置、健康相談の保健室の管理状況把握	4	養護教諭からの情報や定期的な点検をもとに、状況把握、改善を行うことができた。	4	委員会活動による児童の活動が、下級生へ効果的に働いている。	定期的、継続的な情報収集と改善をもとに保健・衛生の管理徹底を図るとともに児童の主眼的な健康管理の醸成を図る。
			学校給食の検食の実施、給食設備の点検	4				
	安全管理	安全対策	通学路の安全点検、見守り隊との連携	4	通学路・校内の安全点検、関係機関等の連絡会等の計画的な実施、及び安全教育の計画的な実施が行えた。	4	学校と地域・PTA・関係機関との情報交換・協力体制が整えられ成果につながっている。見守り隊との交流がよくできている。見守り隊の活動が保護者へ伝わることを願う。	地域・PTA・関係機関との情報交換と連携強化を図るとともに、学校・地域の状況に応じた具体的な安全管理・安全教育の推進を図る。
			学校間、地域、関係機関との情報交換 避難訓練(火災・不審者等)、交通教室等の安全教育実施	4				
	組織運営	校務分掌の機能	各主任のリーダーシップの発揮状況	3	各主任の提案に沿って教育活動に取り組むことができています。	4	学校の実態や職員の特性に応じた校務分掌構成と協働体制の構築を図る。	
	研修	校内研修、一般研修推進体制	校内研修の推進状況 一般研修(生徒指導、人権・同和教育)の推進	4 4	計画的な研修の推進により指導改善を図ることができた。	4	研究主任を中心に校内研究が推進されている。	組織的・計画的な研修体制の確立と一般研修の充実を図る。
教育目標・学校評価	教育目標の達成状況、学校評価	教育目標についての評価と改善	3	教育活動評価による評価と改善策の検討を行えたが、改善策の具体化が十分でない。	4	重要度や優先度を考慮した具体的な改善に取り組んでほしい。	より適正な評価方法の検討と重点目標に基づいた改善策の具体化を図る。	
情報提供	情報ネットワーク体制	連協、社協、右京中校区青少年協との連携と協力	4	各関係機関との連絡会による情報提供、定期的なたよりの発行やMボードによる情報発信を行えた。	4	Mボードを含め様々な情報配信がされていてよい。質の向上、学校だより等の小中連携を望みたい。	保護者・地域・関係機関との連携・協力体制の強化に必要な情報の精選と発信、及び情報収集を図る。	
		学校だより、学年だより、Mボードでの情報発信による教育活動への理解と協力	4					
保護者、住民との連携	保護者・住民等との連携状況	P T A 行事及び地域行事への意欲的な参加による保護者・地域住民との連携	3	各種行事等への参加、学力向上の取組での連携を図れた。さらなる連携の在り方について検討する必要がある。	4	P T A 行事等、多岐にわたり実施され、野菜作りや草取りなどを通じ地域との連携もなされている。教職員のより積極的な参加を願いたい。	各種行事等とともに、日常の教育活動における保護者・地域との連携強化を図る。	
教育環境整備	教育環境の整備充実	教室、特別教室、運動場等の整備 その他の施設設備の整備	3	定期的点検をもとに環境改善、充実を図った。十分な充実を図るまでには至っていない。	4	学校長を中心に環境整備に努めている。保護者・地域の協力での定期的な清掃を行い校内美化の充実をしてほしい。	年間を見通した計画的な教育環境の整備、充実を図る。	

自己評価 4：目標達成(90%以上) 3：ほぼ達成(70%~90%) 2：もう少し(60%~70%) 1：できていない(60%未満)
 学校関係者評価 4：自己評価は適切である 3：自己評価はほぼ適切である 2：自己評価はあまり適切でない 1：自己評価は不適切である